

2021年度 関西大学大学院東アジア文化研究科活動報告

1. 院生合同学術研究大会

院生合同学術研究大会とは、関西大学大学院の院生が各研究科において、研究成果を発表するものである。本東アジア文化研究科では、2021年11月25～26日に開催し、博士課程前期課程5名、博士課程後期課程4名、計9名が発表した。

本大会で東アジア文化研究科は、院生による司会制を導入し、院生が主体となる研究発表大会を目指した。その結果、院生同士による活発な意見交換が行われ、各発表者のみならず発表を聞いていた院生も、今後の研究において良い刺激を得ることができた。

氏名	題目
王 怡 静	新井白石と儒教儀礼
李 龍	分卦直日法から占候易へ—京房の災異思想へのアプローチ—
韓 莉	『東西文化及其哲学』再考—1920年代前後の日中にあらわれた文化的思潮から見る
尹 紫 瑤	安国药王廟研究
温 雪 亮	曲艺对民间信仰的传播与发展
趙 祥 茹	秦漢時代における字体の変遷について—簡牘を中心に
王 婷	聖諭講解書と白話告示—「教化のことば」
王 婷	日中近世告示の語体とその形成背景
邱 吉	民國時期中國古代名畫渡日風波—從「昭和大禮」説起
張 子 康	日本明治時代の孔子研究

2. 2021年度 院生フォーラム ①

2021年5月15日に「2021年度 中日韓院生フォーラム」（中国北京外国語大学 主催）が開催され、東アジア文化研究科の院生4名、各自の研究成果の一端を発表した。

氏名	題目
温 雪 亮	曲艺对民间信仰的传播与发展
屈 豎 萌	『窓ぎわのトットちゃん』中国語訳本の翻訳特徴—言葉遊びの翻訳を中心に
周 瑩	光緒版『逍遙山万寿宮志』に見える玉隆万寿宮の発展 について—清朝における玉隆万寿宮の改築
張 陽	後期水戸学思想の形成—藤田幽谷から会沢正志斎へ

2021年度 院生フォーラム ②

2021年12月16～17日に「2021年度 中日韓院生フォーラム」が開催され、東アジア文化研究科の院生10名、各自の研究成果の一端を発表した。

氏名	題目
沈 和	国名译词“西班牙”的成立
张 米 琪	作为书法家的黑木安雄
顔 龍 龍	民初日本海軍陸戦隊駐紮大冶鉄矿始末—以日藏档案史料的考察为中心—
朴 章 孝	对于厌中情绪的形成及扩展因素考察—通过比较2000年代以后韩国和日本的厌中
李 龍	谷永の災異思想について
晋 誼	黄震の陸九淵評価をめぐって—『黄氏日抄』に基づく—考察—
鄭 天 貽	万里集九の中国書論の受容について—『帳中香』を中心に
劉 陽	佐藤春夫が翻訳した『今古奇観』について
張 陽	『下学邇言』における「神儒折衷」—国学受容と形而上学の欠如—
楊 雪	日本統治時代の台湾における日本語教育—沖縄、満州と対照する

3. 東アジア文化交渉学会第13回年次大会

東アジア文化交渉学会第13回大会は、2021年5月8日に二松学舎大学主催の下、「世界的危機のいま 渋沢栄一を考える」をメインテーマに、漢字と漢籍の伝播、東アジア、ないし世界文明への影響を中心に研究発表を行う。

院生参加者：劉重越、顔龍龍、張子康、王婷、沈和、王超恆、張天皓、屈豎萌、刘洋、末吉佐久子、楊雪、袁帥、喬昭、東延欣、楊一鳴、康佳琦、陳莉莉、邱吉、張亞敬

投稿規定

1 適用の範囲

この規程は『文化交渉 東アジア文化研究科院生論集』（以下『院生論集』）への投稿について適用する。

2 掲載の範囲

『院生論集』には、論考、研究ノート、資料紹介、訳注、書評その他の情報を掲載する。

3 原稿の募集について

- (1) 締め切りはその都度定める。
- (2) 原則として、各号に1論文とする。

4 投稿者の資格

- (1) 東アジア文化研究科もしくは文学研究科文化交渉学専攻の大学院生および修士生であること。
投稿に際して東アジア文化研究科専任教員の同意を必要とする。
- (2) 編集委員会の委嘱を受けたもの。

5 投稿原稿

- (1) これまで他の学術誌に掲載されていないもの、投稿時点で他紙に投稿中でないものに限る。
口頭発表を経たものは、その旨明記する。
- (2) 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わないが、特殊な印刷や翻訳については別途実費負担を求める場合がある。

6 掲載論文について

- (1) 東アジアにおける文化交渉研究に学術的に寄与しうるものとする。
- (2) 掲載原稿は編集委員の審査のうえ、採否を決定する。なお、編集委員は論文等の修正を求められることができる。
- (3) 掲載論文は指導教員による執筆時、及び修正の指導を受けることとする。

7 電子化による公開

『院生論集』に掲載された論文、資料等は、基本的にすべて、国立情報学研究所によって電子化・公開すること、関西大学学術リポジトリに登録することを承諾したものとする。

執筆要領

一、基本情報

(1) 内容

東アジア文化交渉にかかわる論考、研究ノート、資料紹介、訳注、書評その他

(2) 使用言語及び字数

日本語：20,000字程度

中国語：20,000字程度

英語：4,000語程度 17～18頁程度

その他の言語：事前に連絡すること

資料紹介、訳注、書評等についてはこの限りではない。

図表がある場合もなるべくこの範囲に収める。

(3) 要旨、キーワード、タイトル、氏名

① 英文による要旨を150語程度で書く。

また希望者は論文末に中文あるいはハングルで、要旨を加えることができる。

② 要旨のあとにキーワードを日本語あるいは英語で各4～5語つけ加える。

③ 論文タイトル及び執筆者氏名の英語表記を明記する。

④ 資料掲載許可等の著作権処理は投稿者が行い、申請するときは、国立情報学術研究所による電子化・公開についての許諾も得ること。

二、原稿の体裁

(1) 原稿は、プリントアウトした原本1部と電子媒体（word、pdf形式）を同時に提出する。

(2) 図表・画像は本文中に組み込まず、別ファイルを作成すること。ただし、打ち出し原稿に割り付け位置、図表・画像のキャプションの指示を行うこと。

三、原稿の書式

(1) 原則として、Word文書で作成すること。本文のフォントサイズは10.5ポイントとする。

(2) 注は脚注方式を採用。注番号は全角の「1, 2, 3…」の数字を使うこと。

脚注のフォントサイズも本文と同様に10.5ポイントとする。

(3) 文献に関しては参照文献リストをつけず、各論文の脚注のみとする。

(4) 分節化の符号として、章は一、二、三、節は1, 2, 3を使用すること。

なお、原則として冒頭は「はじめに」、文末は「おわりに」で統一する。

(5) 年の表記において、和暦と西暦を併記する必要がある場合は、「1911（明治44）年」あるいは「宣統3年（1911）」のようにし、本文中での表記は統一すること。

(6) 本文中の算用数字は半角とする。

(7) 資料の引用は本文に対して二字下げとする。ただし、ファイル上ではスペースを打ち込まず、インデント処理とする。

- (8) 漢字は現代仮名づかいにより、原則として常用漢字の範囲で書く。ただし、旧漢字を使用しなければならない場合はこの限りではない。外字に関しては、文書ファイルで■（黒い四角）を入力した後、打ち出し原稿に当該文字を朱書すること。
- (9) 欧米人の名前は文中での初出の際、「ウィルソン（Thomas Woodrow Wilson）大統領」のように、丸括弧の中に欧文原名を示す。

四、著作権

- (1) 『院生論集』に掲載された論文等の著作権は、著者及び翻訳者に帰属する。
- (2) 著者及び翻訳者は、院生論集への掲載をもって、関西大学大学院東アジア文化研究科に対して無償で著作物の複製権（著作権法第21条）及び公衆送信権（同法第23条）を許諾し、かつ、拠点が第三者に対してそれらの権利を再許諾することについて同意するものとする。

五、その他

審議を要する事項は、編集委員長が同委員会に諮り定める。

○原稿締め切り

期日までに投稿されなかったものは不可とする。査読を行ったうえで採否を決定します。

また、指定日までに氏名・学籍番号・指導教員・論文題名を下記のメールアドレスに送信し、投稿申請を行ってください。

○提出先

関西大学大学院東アジア文化研究科

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

以文館 4階 東アジア文化研究科院生研究室 2 『院生論集』編集係

Eメール：east.asian.culture2012@gmail.com

○提出方法

原稿の電子データをEメールに添付し、提出してください。

なお、打ち出し原稿をあわせてお届けください（詳細は「二、原稿の体裁」を参照）。

執筆者紹介

(掲載順)

王	婷	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
屈	豎 萌	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
吳	雨 清	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
陈	晓 淇	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
沈	和	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
杨	一 鸣	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
西	田 智 子	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
张	米 琪	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
王	天 惠	(東アジア文化研究科 博士課程 前期課程)
趙	祥 茹	(東アジア文化研究科 博士課程 前期課程)
劉	明 錯	(東アジア文化研究科 博士課程 前期課程)
王	佳 超	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
劉	書 鈺	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
桑	宇	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)
王	若 翰	(東アジア文化研究科 博士課程 後期課程)

院生論集編集委員

委員長：李 曉 晗

委員：杨 一 鸣・王 怡 静

著作権について

- 1) 本書に掲載された論文等の著作権は、著者及び翻訳者に帰属します。
- 2) 著者及び翻訳者は、本書への掲載をもって、関西大学大学院東アジア文化研究科に対して無償で著作物の複製権（著作権法第21条）及び公衆送信権（同法第23条）を許諾し、かつ、拠点が第三者に対してそれらの権利を再許諾することについて同意します。

※本書に掲載された論文等を、著者及び翻訳者の所属機関が、学術データベース等にて電子化・公開を希望される場合は、著者及び翻訳者にその許諾の可否をお伺いください。

文化交渉

東アジア文化研究科院生論集

第12号

発行日 2022年11月30日

編集 関西大学大学院東アジア文化研究科

発行 © 関西大学大学院東アジア文化研究科

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

Eメール jeac@ml.kandai.jp

印刷 株式会社 遊文舎